



予選レポート

2020/10/18 Rd-3 スポーツランド SUGO

天候：晴れ 気温：16℃ 出走台数：19台

COVID-19 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うカレンダー変更で、初の10月開催となった第3戦スポーツランド菅生。昨日の雨から一転、晴天に恵まれたが、気温16度と例年とはコンディションの違う中での開催となった。

2 グループ制で行われるノックアウト第1予選。

フリー走行が行われた昨日は雨天や赤旗中断のため、ドライタイヤの ATTACK はぶっつけ本番となる。A組の山本選手は、タイヤのウォームアップを意識し、予選残り7分のタイミングでコースイン。慎重にタイヤを温め、4周目に ATTACK を行う。タイヤの発熱など確認しつつ4番手で第2予選へ。

B組福住選手は、A組山本選手からのフィードバックを得、3周目の ATTACK プランでコースイン。Attack周の第3セクターでミスがあったため、翌4周目に Attack を変更。着実に自身のタイムを更新していたが、第4セクターに入ったところで他車のコースアウトにより赤旗中断となってしまふ。残り時間3分で予選再開されたが、既に Attack したユーズドタイヤではタイムアップならず、不運にも第1予選で終えることになった。

迎えた第2予選。14台が7分のセッションで Attack を行う。

セッション開始1分をおいてコースインした山本選手は、前後の位置関係をマネジメントしながら3周目に Attack。各セクターでタイムを更新し、好タイムが予想されたが、最終セクターで前車に追いついてしまいアクセルを戻さざるを得なかった。それでも1分4秒台のタイムでトップに立つが、その後4周目 Attack 組がタイムアップ。10位で予選を終えることとなってしまった。

5：山本選手 予選10位 (第1予選A組4位 第2予選10位) HONDA 勢4位

天候不順だった昨日の公式テストで予選シミュレーションはできませんでしたが、車の感触はこれまでで最もよく、予選トップを狙える感触はありました。特に第2予選ではタイヤの温まりと、前後ライバルとの位置に注意を払って調整したのですが、他車に追いついてしまいベストな Attack ができませんでした。残り5戦、全て勝つつもりでここに臨んでいるので、気持ちを入れ替えて決勝に集中します。

6：福住選手 予選15位 (第1予選B組8位) HONDA 勢6位

車の仕上がりは非常に良く、予選上位の自信もありました。赤旗中断でタイム Attack できず、予選再開後もユーズドタイヤながらタイムアップを目指しましたが、第1予選通過することができませんでした。後方からのスタートとなりますが、特に SUGO は毎年荒れる展開になるので、しっかり戦ってポイントを持ち帰りたいです。



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レポート

2020/10/18 Rd-3 スポーツランド SUGO

天候：晴れ/曇り 気温：18℃ 出走台数：19台

観客数：17日(土)2,300人 18日(日)4,200人 合計6,500人

予選終了から約2時間、午後になって薄く雲がかかり気温も上がらない中、第3戦スポーツランド SUGO 53週の決勝レースが幕を開けた。

Rd2岡山戦に続き、タイヤ交換義務付け、53週のレース中、10周目以降にタイヤ4輪交換を行わなければならないレースフォーマット。

前半2戦で着実にポイントは加算しているものの、大きなポイント獲得ができていない **DOCOMO TEAM DANDELION RACING**。シーズン残り5戦でチャンピオン争いの一角に入るために、第3戦 SUGO は絶対に落とすことのできないレースだ。

山本選手 10番グリッド、福住選手は 15番グリッドからのスタート。ポイント圏内、そして表彰台を目指すため、スタートに集中して臨んだ両選手。山本選手は抜群のスタートと位置取りで1周目に4番手までポジションアップ。3周目には1コーナーでオーバーテイクし3番手に。ここから白熱の2番手争いが続いた。

福住選手は、1コーナーの多重クラッシュによる混乱で1ポジションダウンして16番手に。そこから着実に13番手まで挽回した11周目、タイヤ交換を済ませてコースへ戻った。

山本選手は18周目、ついに2番手に浮上。その翌周、クラッシュ発生によりセーフティーカーが導入されると、チームは即座に山本選手をピットに呼び、ミスなくタイヤ交換を終えてコースに戻した。27周目にレースは再スタート。タイヤの温まりが十分でなかったか、再スタート直後の1コーナーで3番手にドロップしてしまう。その後も2番手争いを繰り返し届かず、山本選手は3位でレースを終え表彰台獲得した。福住選手は安定したラップを刻み、ポイント圏内の10番手までポジションアップし第3戦を終えた。

5：山本選手 3位 (HONDA 勢1位)

予選ポジションに関係なく優勝だけ考えてスタートに集中しました。スタート後の感触は良く、2位までポジションを上げることが出来ましたが、タイヤ交換後は路温が低くなったせいかバランスが崩れてしまい苦勞する部分もありました。優勝には届きませんでしたが、今年初表彰台を獲得できてチームとしてひとつステップを踏めたと思います。しかし課題も残るレースでしたから、次戦オートポリスでの優勝を目指してチームと共にしっかり準備します。

6：福住選手 10位 (HONDA 勢4位)

スタートでは1コーナーの混乱もあり1つポジションを落としてしまいましたが、その後は着実にポジションアップでき何とか10位でポイントを得ることが出来ました。予選の不調が続いており、我々が持つ本来のパフォーマンスが発揮できていません。課題に向き合って、チームとともにさらにレベルアップして次戦に臨みます。